

雫石商工会 令和4年度経営発達支援事業評価

＜評価基準＞
 A：目標を達成することができた（100%以上）
 B：目標を概ね達成することができた（80～99%）
 C：目標を半分程度しか達成することができなかった（30～79%）
 D：目標をほとんど達成することができなかった（30%未満）
 E：未実施（0%）
 -：新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため実施を見送った事業

I. 経営発達支援事業の内容

(令和5年3月現在)

事業	項目	4年度	実績	3年度	評価	
		目標		評価(参考)		
1. 地域の経済動向調査【指針③】	(1)雫石町経済動向調査 上記情報提供	18社 4回	毎月小売業、サービス業、飲食業、宿泊業を中心とした景況アンケート調査を毎月10件実施しており、併せて補助金・給付金等の情報提供を行っている。	60社 6回	A A	
	(2)金融機関等へのヒアリング調査 上記情報提供	3回 3回	9月に北日本銀行雫石支店と金融懇談会を開催している。県央ブロック金融連絡協議会他定期的に情報交換を行っている。	3回 3回	A A	
	(3)刊行物、各種統計調査による調査 上記情報提供	2回 4回	職員間で刊行物等を回覧し、事業計画の策定等に必要資料等の調査を行い、会報や巡回等で情報提供を行った。	2回 5回	A A	
	(1)小規模事業者経営実態調査	40件	1 (1) 経済動向調査と同様、毎月10件経営実態調査を実施しており、景況変化の把握に努めている。今年度はインボイス導入調査を実施している(資料4)。	60社	A	
	(2)経営分析件数	30件	経営革新計画承認支援、各種補助金申請支援時において経営分析を行っている。今年度も決算申告指導において経営分析を行っている(72件)。	92件	A	
3. 事業計画策定支援【指針②】	(1)事業計画策定セミナーの開催 (うち、参加事業者数)	1回 30者	ビジネスモデル見直し個別相談会を9回開催している。主に事業再構築補助金、小規模事業者持続化補助金の申請を見据えた支援を行っている	9回 33社	A A	
	(2)事業計画策定件数 (うち、事業承継計画策定件数)	20件 2件	経営革新計画や小規模事業者持続化補助金申請による計画のほか、リスクに基づいた事業計画の見直し支援を行っている。	20件 2件	A A	
	(3)創業計画策定件数	2件	猟銃弾小売業、洋菓子製造業について、店舗候補地の紹介、創業計画策定及び融資斡旋指導を行っている。	2件	A	
	(1)事業計画策定事業者数 (うち、事業承継計画策定事業者含む)	20者	経営革新計画策定3件(うち1件承認)、小規模事業者持続化補助金計画策定10件(うち採択5件)、事業継続力強化計画策定2件、マル経等事業計画策定5件。	20者	A	
4. 事業計画策定後の実施支援【指針②】	(2)上記フォローアップ回数	80回	コロナ禍により、事業計画策定後の見直しや金融斡旋支援など以前に比べて細やかなフォローアップが求められており、フォローアップ回数は増加傾向にある。	52回	A	
	(3)創業計画策定事業者数	2者	猟銃弾小売業、洋菓子製造業について、店舗候補地の紹介、創業計画策定及び融資斡旋指導を行っている。	2者	A	
	(4)上記フォローアップ回数	12回	上記創業者について、継続してフォローアップを行っている。	8回	A	
	(1)特産品調査回数 調査件数 調査対象事業者数	1回 250件 5件	今年度は主にV-RESASを使用した消費動向・トレンド調査を行っている。特産品に限らず、全ての業種において消費者ニーズ調査に活用している。	1回 250件 10件	A A A	
5. 需要動向調査【指針③】	(2)飲食店調査回数 調査件数 調査対象事業者数	1回 250件 5件	独自にアンケート調査は行わず、googleやぐるなびといった投稿サイトの口コミを集計・分析し情報提供を行っている。なお、仙台市に飲食店をオープンを目指している会員に対し、現地の需要動向実地調査を行っている。	2回 250件 5件	A A A	
	(3)バイヤー向け実施回数 調査件数 調査対象事業者数	1回 9件 3件	6月にいわて銀河プラザにおいてバイヤーから売れ筋商品等の情報収集を行った。来年度はより成果が期待できると思われる。	1回 5件 1件	A A C	
	(4)都内レストランシェフ向け実施回数 調査件数 調査対象事業者数	1回 9件 3件	都内レストランのシェフに対して調査は実施出来ていない。	- - -	- - -	
	(5)専門家派遣の回数	3回	7月に1回、12月と3月に実施している。	1回	A	
	(6)外部データの活用による需要動向に関する提供回数	4回	「いわて銀河プラザ」の売れ筋商品情報や業界紙のトレンド情報の提供を行った。	4回	A	
	6. 新たな需要の開拓に寄与する事業【指針④】	(1)いわて食の商談会への出展支援件数 成約件数	4件 2件	周知するも実際に出展した事業所はない。	- -	- -
		(2)いわて銀河プラザへの出展支援件数 全体売上目標	2件 15万円	6月にいわて銀河プラザにおいて雫石町の物産と観光展を開催している。	2件 -	A -
		(3)ニッポン全国物産展への出展支援件数 全体売上目標	2件 15万円	周知するも実際に出展した事業所はない。	- -	- -
		(4)全国軽トラ市(長野市篠ノ井)が開催され、出店及び出店支援を行った。また、和歌山県九度山町で開催されている軽トラ市の視察を行っている。	2件 10万円	2件 5万円	- -	A C
		(5)ニッポンネット.COM掲載事業所数 全体売上目標	2件 10万円	現在はふるさと納税の返礼品やshopifyでの採用を検討している事業所が多いため、事業所の要望に応じて支援を行っている。	5件 -	A -
(6)ホームページ開設(SHIFT)掲載事業所数 全体売上目標		2件 10万円	ホームページ開設を検討している事業所もあるが、Facebookを始めとしたSNSによる情報発信が増えており、状況に応じた支援を行っている。	2件 -	A -	
(7)SNS活用セミナー実施回数 参加事業者数		1回 5者	集団でのセミナーは開催していない。	- -	- -	
(8)SNS活用による全体売上目標		10万円	集計が出来ないため実施していない。	-	-	

II. 地域経済の活性化に資する取組

事業	項目	4年度	実績	3年度	評価
		目標		評価(参考)	
1. 地域経済活性化事業	(1)地域経済活性化のための検討委員会の開催	2回	軽トラ市実行委員会の開催を通じ、地域経済活性化のための検討を行っている。	6回	A
	(2)地域資源を活用した商品開発事業	随時	しずく×CANによる「ナナイロドレッシング」開発・製造に向けて、専門家派遣を活用し商品化を図った。	済	A
	(3)特産品ブランド化事業	随時	豊富な森林資源を有する、雫石産材の薪・チップを製造販売を目指している。	済	A
	(4)観光資源の掘り起こしと観光ルートの設定	随時	松ぼっくりに隣接した昆虫園開園の支援を行っており、観光コース設定に向けて支援を行っている。	済	A
	(5)テストマーケティング及びチャレンジショップの実施	随時	5～9月の軽トラ市において、「一押し店」として5件のテストマーケティングを行った。	5回	A

III. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

事業	項目	4年度	実績	3年度	評価
		目標		評価(参考)	
1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換	(1)若手県信用保証協会及び地元金融機関との連携	2回	北日本銀行雫石支店と金融懇談会を開催している。若手銀行雫石支店とは未開催だが、両銀行とも異業種交流会に参加している。	3回	A
	(2)日本政策金融公庫との連携	2回	一日公庫の開催やマル経、コロナ融資については緊密に連携を取って対応している。異業種交流会において、マル経等のPRを行った。	3回	A
	(3)若手県商工会連合会との連携	1回	イノベーションアワードにおいて株式会社航和が昨年度の(有)なかまごに続き、イノベーション部門大賞を受賞している。	1回	A
	(4)マーケティング系のコンサルタント等との連携	2回	専門家派遣と同席し、ヒアリング能力の向上と情報分析手法の習得を図っている。	3回	A
2. 経営指導員等の資質の向上等	(1)独立行政法人中小企業基盤整備機構が主催する研修	随時	対象職員がいないため受講していない。	-	-
	(2)若手県商工会連合会が主催する研修	随時	経営指導員や経営支援員を対象に、若手県商工会連合会が主催する各種研修に参加し資質の向上に努めている。	済	A
	(3)勉強会及びOJTを通じたスキルアップ	随時	職員を対象としたOJTを通じ、経営革新、持続化補助金等の申請に係る資質向上に取り組んでいる。	済	A
	(4)支援情報、支援ノウハウの共有化	12回	毎月、職員間でミーティングを行い、職員相互の支援内容や情報を共有し、小規模	12回	A
3. 事業の評価及び見直しをするための仕組み	(1)業務会議	12回	毎月業務会議を行い、業務進捗や課題の共有を図っている。	12回	A
	(2)理事会	4回	4月、7月、2月、3月にそれぞれ開催をしている。	4回	A
	(3)経営発達支援評価委員会	3回	7月、12月、3月にそれぞれ評価委員会を開催している。	3回	A

令和4年度総合評価

B